

質問・回答

(業務名称) 沖縄センター 外壁・屋上改修工事に係る設計業務

(公告/公示日：2023年4月18日/公告番号：23c00144) について、以下のとおり回答いたします。

2023年5月10日

独立行政法人国際協力機構

沖縄センター 契約担当役

通番	該当頁	該当項目	質問	回答
1			業務人・時間数の公表又は告示98号の図面目録に基づく算定方法に必要な図面目録一覧(図面枚数及び複雑度記載)のご提示は可能ですか。	提示は予定していません。
2	業務仕様書 P9	第3. 2. (2)アスベスト含有分析調査業務について	アスベスト含有分析調査は、定性分析と考えてよろしいでしょうか。	ご理解のとおりです。
3			特殊建築物における定期報告の調査は行ったことがありますか。	3年に1回定期調査を実施しています(2020年11月実施済み 2023年11月実施予定)
4	業務仕様書 P7	第3. 2. (1)基本設計業務について	瓦屋根の改修についても本業務の対象範囲となりますか。対象範囲となった場合の現地調査についても、目視及び手の届く範囲での業務と考えて宜しいでしょうか。	瓦屋根は、高圧洗浄および漆喰部の補修を想定していますので、瓦屋根材の改修は対象外です。
5	業務仕様書 P24	第4. 成果物3. 実施設計業務について	実施設計図の作成について、PDFを使用しての作図でも宜しいでしょうか。それとも全ての棟をCAD化する必要がありますか。	全棟を対象としてCAD化とします。CADで製図することを必須とします。
6	業務仕様書 P24	第4. 成果物について	CADデータが必要な場合は、DWG形式ではなくJW若しくはDXF形式としても宜しいでしょうか。	DWG形式で提出してください。
7	入札説明書 P10	第1. 7. 下見積書について	下見積書に記載する金額は、入札時の金額と異なっても宜しいですか。	よろしいです。
8	入札説明書 P14	第1. 14 (5) 低入札価格調査について	別途定める「低入札価格調査基準」については、入札金額がどの程度下回った場合となりますか、ご教示下さい。	提示はしていませんが、国土交通省準拠としています。
9	P3~P4	図表2: 設備概要(該当なし)	業務仕様書P3及びP4から判断すると、設備設計は含まれていない事になっています。屋上又は外壁に設置されている設備機器等の一時撤去再取付けは無しと考えて宜しいですか。	設備機器等の一時撤去は必要です。現時点では、設置されている設備機器等のうち①架台に設置されている設備機器(比較的大規模な設備機器。例: 熱源、太陽光パネル等)、②屋根に直置きされている設備機器(比較的小規模な設備機器。例: 既製品コンクリート基礎に設置する小型の室外機等)のうち、②のみ一時撤去することを想定しています。しかし、基本設計段階の調査において、一時撤去の対象の妥当性を確認し、その結果、本件業務受注者が対象の見直しが必要であると判断する場合には、その提案をできるものとします。
10	業務仕様書の別紙1	業務仕様書の別紙1の写真	業務仕様書の別紙1の写真から判断すると、屋上に太陽光パネルが設置されているように見受けられる。この部分に関しては設計上考慮せず、工事も行わないと考えて宜しいですか?	通番9のとおり。
11	P7~P8	第3業務内容 2. 業務内容及び範囲⑤	業務仕様書P7~8、基本設計業務の「⑤上下水道、ガス、電力、通信等の・・・」と設備の記載があるが、業務対象外ではないでしょうか?	設計業務及び当該工事施工に際して支障がなければ、対象外とします。
12			建物の現況調査は目視、および手の届く範囲と判断して宜しいですか?	よろしいです。調査不可能な部位については、未調査の旨の記録を残してください。なお、外壁打診調査での手の届く範囲とは床面より約2mの範囲とし、窓から身を乗り出す等、安全性を確保できない方法による調査を行わないようにしてください。
13			手摺の無い屋上等、安全性が確保できない部分は、転落の恐れのない場所からの目視による現況調査として宜しいですか?	よろしいです。調査不可能な部位については、未調査の旨の記録を残してください。
14	P. 19	6. 打合せ及び業務レビュー	各打合せ及びレビューは、WEB会議とすることは可能ですか。	各業務のキックオフの打合せは原則対面(WEB会議参加者も受け付ける)としますが、他の打合せ及び業務レビューを業務に支障の無い範囲でオンラインとすることは可能です。
15	P. 21	8. 技術者の配置と資格	主任技術者と担当技術者は兼務が可能ですか。	可能です。